



A 試合会場レポート

試合番号 007

開催日 2024/05/06

2024年度 第72回黒鷲旗 全日本男女選抜バレーボール大会 男子 会場：Asueアリーナ大阪

観客数： 4,203	開始時間： 14:05	終了時間： 16:36	試合時間： 02:31	主審： 中山 健	副審： 明井 寿枝
------------	-------------	-------------	-------------	----------	-----------

パナソニックパンサーズ



監督：ティリ ロラン
コーチ：白澤 健児

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

2	21	第1セット 【 00:33 】	25	3
	25	第2セット 【 00:28 】	21	
	17	第3セット 【 00:24 】	25	
	28	第4セット 【 00:34 】	26	
	11	第5セット 【 00:20 】	15	

ポイント 【】内はセット時間
()内は交代選手

サントリーサンバーズ



監督：山村 宏太
コーチ：オリビエ キャット

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

最後まで諦めずに戦え、本当に素晴らしい試合になりました。選手、スタッフの皆様ありがとうございました。
毎日試合が続く大会、選手はもちろんファンの皆様も大変お疲れ様でした。応援して下さいました皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

<監督コメント>

本日もサンバーズへのご声援ありがとうございました。
決勝に相応しい試合だったと思いますし、ただただパナソニックの試合に臨む姿勢は素晴らしかったと思います。我々サンバーズも改めて試合に勝つ難しさ、準備、連戦の戦い方を学ぶことになった大会でした。
選手はタフな試合にも関わらず、最後までよく戦ってくれました。今回の大会で多くの選手、スタッフがチームを離れたりバレーボールから離れることになりました。私もその中の一人ですが、一人のバレーボールファンとしてこの大会から多くのものをえることが出来ました。今後どのような開催になるかわかりませんが、ぜひバレーボールの発展の為に大会になってほしいとおもいます。
最後になりますが支えてくださった全ての関係者に心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。又、どこかでお会いしましょう！！

21	西川	垂水	第1セット	柏田	藤中(謙)	25
	()	()		(高橋(壘))	()	
	深津	西山		ムセルスキー	大宅	
(清水)	(新)	()	()	()	()	
仲本	児玉	アライン	鬼木	()	()	
()	()	()	()	()	()	

リベロ： 永野 リベロ： 藤中(颯) 喜入

25	垂水	西山	第2セット	藤中(謙)	大宅	21
	()	()		()	(兪)	
	西川	児玉		柏田	鬼木	
()	()	()	(高橋(壘))	()	()	
深津	仲本	ムセルスキー	アライン	()	()	
()	()	()	()	()	()	

リベロ： 永野 リベロ： 藤中(颯) 喜入

17	垂水	西山	第3セット	佐藤	藤中(謙)	25
	()	(新)		()	()	
	西川	児玉		ムセルスキー	大宅	
()	(中村)	()	()	()	()	
深津	仲本	アライン	鬼木	()	(高橋(壘))	
(清水)	()	()	()	()	()	

リベロ： 永野 リベロ： 藤中(颯) 喜入

28	深津	西川	第4セット	藤中(謙)	大宅	26
	()	()		()	(兪)	
	仲本	垂水		佐藤	鬼木	
()	()	(高橋(壘))	(西田)	()	()	
児玉	西山	ムセルスキー	アライン	()	()	
(中村)	()	()	()	()	()	

リベロ： 永野 リベロ： 藤中(颯) 喜入

11	西川	垂水	第5セット	佐藤	藤中(謙)	15
	()	()		(高橋(壘))	()	
	深津	西山		ムセルスキー	大宅	
()	()	()	()	()	()	
仲本	児玉	アライン	鬼木	()	()	
()	()	()	()	()	()	

リベロ： 永野 リベロ： 藤中(颯) 喜入

<要約レポート>

Vリーグファイナルと同様の顔合わせとなったパナソニックパンサーズとサントリーサンバーズの戦いは、地元大阪の応援を背にフルセットまでもつれ込む大接戦となった。
第1セット、サントリーはムセルスキーを中心に、パナソニックは西山を中心にゲームを組み立て、相手の様子を伺う。セット中盤、サントリーは柏田のスパイク、大宅のブロックから14-11と一歩抜け出すと、そのまま優位に進め先取する。
第2セット、お互い譲らない展開が続くが、終盤パナソニックは垂水のサーブから相手のレシーブを崩し有利に組み立てると、仲本、西川の4連続ポイントで24-20とリードし、セットを奪い返す。
第3セット、サントリーは柏田に代わり佐藤を投入し、序盤から流れを変えようと試みる。これが功を奏し12-7とリードする。パナソニックは、終盤、清水、新を投入し応戦するも、勢いに乗ったサントリーを止めることができず、最後はサントリー鬼木のスパイクが決まり、このセットを落とす。
第4セット、後がなくなったパナソニックはリベロ永野を中心に粘りを見せるが、サントリー・ムセルスキーの高さに苦戦を強いられ、22-20とリードを許しこのまま終わるかに見えた。しかし、パナソニックは、児玉のブロック、西山のスパイクで同点に並びデュースの末、最後は西川のサービスエースでファイナルセットへ持ち込む。
第5セット、両チーム共に一歩も譲らない展開が続く、8-7とサントリーリードでチェンジコートを迎える。パナソニックはコートチェンジ後、西山のサーブから3連続ポイントをあげ逆転に成功するが、サントリーはムセルスキーのスパイク、藤中、大宅のブロックで4連続ポイントをあげ、粘るパナソニックを振り切った。
サントリーは、2大会ぶりの王座奪還、また、Vリーグに続いて2冠を達成した。

作成者： 黒田 拓也

